

こころのリスク外来をご検討の患者さんへ

(こころのリスク外来ご紹介シート)

こころのリスク外来は“こころのリスク状態”または“初発精神病（サイコーシス）”の専門外来で、東京大学医学部附属病院にあります。こころの病をできるだけ早期に発見して、できるだけ早期に適切な治療や支援を行うことを目標としています。

□こころのリスク状態とは？

こころのリスク状態とは、統合失調症などのこころの病気になるリスクが高まっている状態を指しています。あてはまる症状は人によっていろいろなパターンがあります。

□こころの不調の症状とはどのようなパターンがあるの？

- ・人の視線や会話が気になって困る
- ・ものの見え方・聞こえ方がおかしくて困る
- ・考えがコントロールできなくて困る
- ・感情や行動がコントロールできなくて困る



→こうした症状も早めに対処することで、早く良くなることがわかっています

□ こころのリスク外来の対象となる方

- ① こころのリスク状態に当てはまる症状がある方
- ② 12歳から40歳までの方
- ③ 症状が出はじめてから5年以内の方
- ④ 依存症（アルコール依存、薬物依存）・知的障害・発達障害の診断、治療を受けていない方



□ 受診方法

ご相談、お問い合わせは下記ホームページからご連絡ください。

HP アドレス <http://plaza.umin.ac.jp/arms-ut/>

もしくはメールアドレス Kokoro_risk-office@umin.orgまで。

(携帯電話からのお問い合わせの場合は、umin.org を受信可能な状態に設定してください)



HP アドレス